

取扱説明書

CO2センサー搭載 空気清浄機

型番 3R-CO2AP

目次



特長	P1
安全上のご注意	P2-3
各部のなまえと働き	P4-5
ご使用前に	P6
使いかた	P7-8
お手入れ	P9-10
オプション品	P11
故障かな！？	P12
仕様	P13
保証・アフターサービス	P14
梱包内容	裏表紙

特 長

■ 0.04 μm のウイルスまで99.3%キャッチ

空気中の微小な細菌・ウイルスを逃しません。

■ フィルタ内でウイルスを99.8%抑制

静電気のでキャッチされたウイルスを抑制します。

■ フィルタの目詰まりゼロで水洗い可能※

油煙やたばこ煙で空気清浄効率が低下しません。

(9ページ目 お手入れ参照)

■ コンパクトで低消費電力

HEPAフィルタタイプと比べて体積は半分以下で、電気代は約1/3です。

■ CO₂濃度の計測結果がインジケータの色で確認可能

CO₂濃度に応じて、表示灯の色を変化させ、換気のタイミングをお知らせします。また、設定した濃度を超えると、アラームを鳴らします。

■ CO₂濃度の計測結果による自動風力調整


換気が不十分な場所で、混み具合によって風量を調整し、空気中のウイルスや菌を除去することで、エアロゾル感染や空気感染のリスクを低減します。


※ 空気清浄機はCO₂濃度を下げるものではありません。

CO₂濃度を下げるには換気か混雑状況の解消が必要です。


安全上のご注意 必ずお守りください


誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡、または重傷を負う恐れがある」内容。


 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受ける恐れがある」内容。

お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければいけないこと。

警告



配線器具の定格を超える使いかたや交流 100V 以外では使わない。
(火災・感電の原因)

電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・高温部に近づけるなどしない。
(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

重いものを載せたり挟み込ませない。
(電源コードが破損し、火災・感電の原因)

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使わない。
(火災・感電・ショートの原因)

ぬれた手で抜き差ししない。
(感電の原因)

移動するときに電源コードを傷付けない。
(感電や発熱・火災の原因)


吸込口・吹出口に指や棒などを入れない。
(感電・故障の原因)

お茶や水などをこぼさない、水につけたり、水をかけたりしない、本体に直接水を入れない。
(本体内部に水が入り、感電・ショート・発火の原因)

塩素系や酸性の洗剤は使わない。
(洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害す原因)

改造はしないまた、修理技術者以外は、分解修理をしない。
(火災・感電・けがの原因)

幼児の手の届く範囲では使用しない。
(感電・けがの原因)



電源プラグは根元まで差し込む。傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使わない。
(感電やショート、発熱による火災の原因)

電源プラグのホコリなどは定期的に取り除く。電源プラグを抜き、乾いた布でふく。長期間使わないときは、電源プラグを抜く。
(ホコリがたまり、湿気などで絶縁不良になると火災の原因)

お手入れや点検、移動時には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
(感電やけがの原因)

異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常・故障例

- パネル取付け後、スイッチを入れても運転しない場合がある。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体ケースが変形していたり異常に熱い。
- こげ臭いニオイがする。

(異常のまま運転を続けると、故障や感電、発煙、火災などの原因)

⚠ 注意



こんな場所には置かない。

- 不安定な場所や高い場所
(落下や転倒によるケガや家財の漏電・感電・火災の原因)
- 浴室など、高温・高湿・水のかかる場所
(漏電による、感電や火災の原因)
- 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れる恐れのある場所
(引火や本体への吸引による発火や発煙の原因)
- 動植物に直接風が当たる場所
(風による乾燥の原因)
- 吹出口の風が家具や壁に直接当たる場所
(シミの原因)
- 加湿器の近く
(静電気フィルタ内のショートの原因)

ベンジンやシンナーで拭かない。

煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは運転しない。
(蓄積した薬剤成分が吹出口から放出され、健康を害する原因)



上に乗ったり、寄りかかたりしない。
(転倒によるケガの原因)

可燃物や火のついた煙草・線香などを近づかない。
(引火による火災の原因)



移動するときは、運転を止め、電源プラグを抜く。
電源プラグを抜くときは、プラグ部を持って抜く。
(コードが破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)

燃烧器具と一緒に使うときは、換気する。
(一酸化炭素中毒の原因)
●一酸化炭素を除去するものではない

使用上のお願い

一週間に最低一時間以上運転を止める。
静電気フィルタの性能を維持する為に必要です。

こんな場所には置かない

- 直射日光やエアコンの風/熱が当たる場所
(変形や変質、変色、ご動作の原因)
 - 窓際などホコリセンサー付近をふさぐ場所
(ホコリセンサーが正しく働かない原因)
 - テレビやラジオの近く
(映像の乱れや雑音の原因)
- 1m以上離して置いてください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は別のコンセントを使ってください。

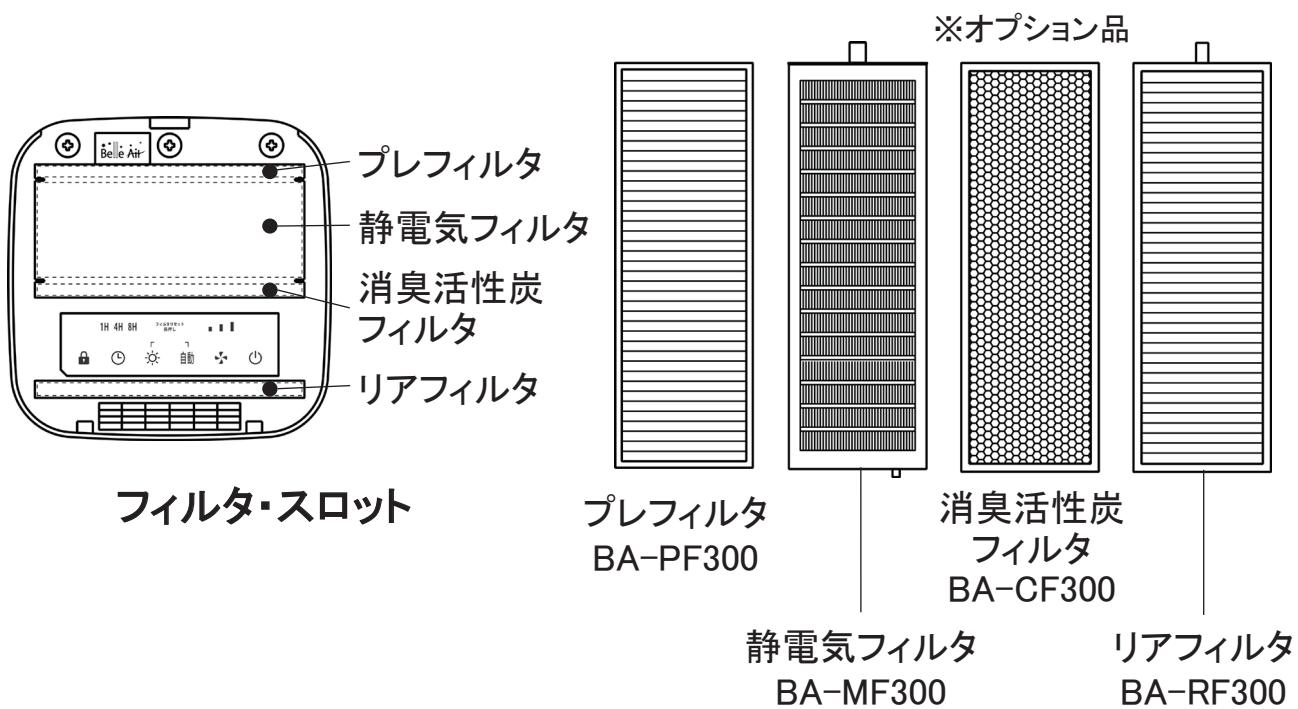
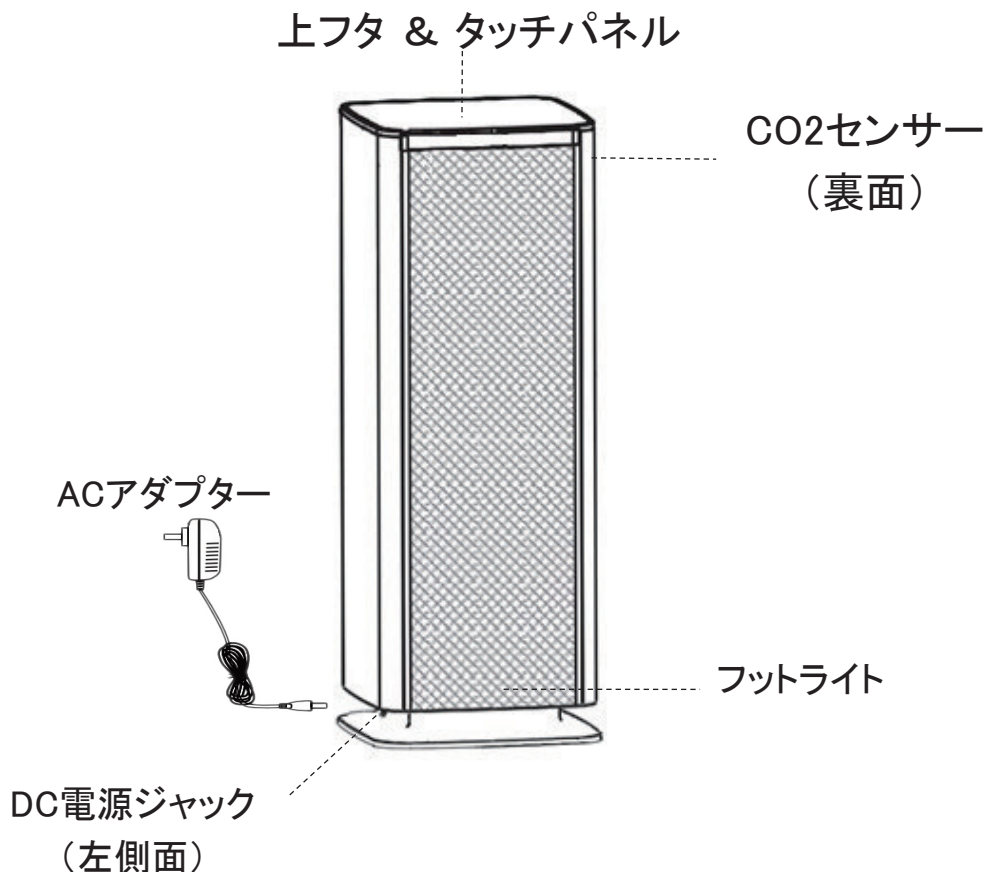
本体の上に磁石や金属物、水の入ったコップは載せない
(タッチスイッチが誤動作する原因、水がこぼれて故障と感電の原因)

長時間、同じ場所で使うときは
本体周辺の壁や床などが汚れることがあり、時々設置場所を移動したり、定期的に壁や床を清掃することをおすすめします。

花粉などのハウスダスト対策には床置き
花粉やホコリなどは床近くに舞い落ちやすいため、本体をお部屋の平らな床に設置することをおすすめします。

お部屋の空気を効率よく循環させるために
吸気口や吹出口をふさがないように、本体の左右と後を壁や家具、カーテンなどから約30cm以上離して設置してください。真上は100cm以上空ければ効率よくご使用いただけます。

各部のなまえと働き

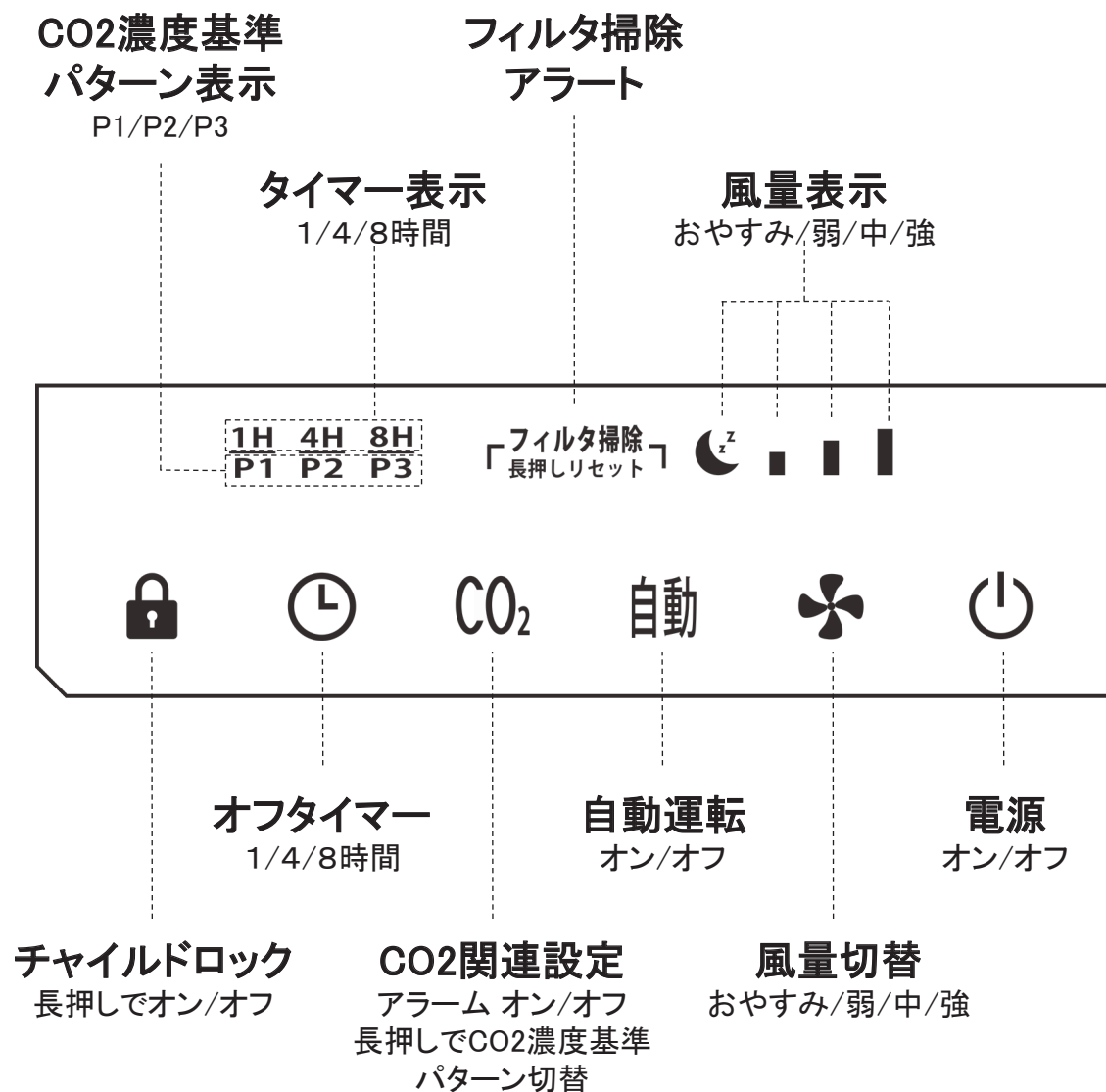


各部のなまえと働き

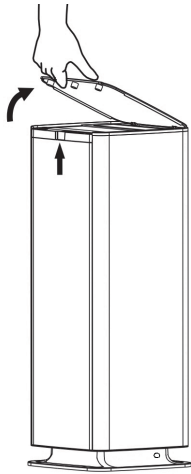
操作パネル

- 上フタが付いた状態でタッチパネルは操作出来ます。
- 表示灯の色について、
操作中の機能は白色で表示され、それ以外は青色で表示されます。

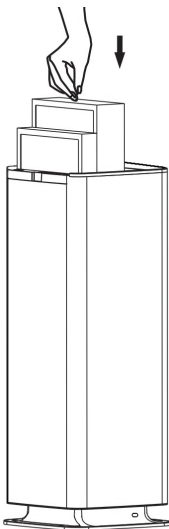
点滅中に照明モードと自動運転ボタンを
同時に5秒間押すとリセット出来ます



ご使用前に

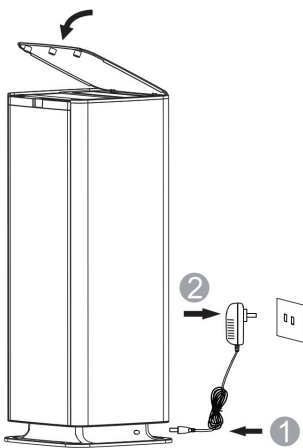


上フタを開けて、取り外します。



**フィルタが装着されていることを確認
します。**

- 静電気フィルタをゆっくりスロットに挿入し、奥に突き当たるまで押し込んでください。
- 静電気フィルタが装着されず、または挿入方向が間違っていると、動作しません。



**上フタを閉め、ACアダプターのDC
ジャックを本体に差し込んだ後、ACア
ダプターをコンセントに差し込みます。**

- 差し込む前に、ACアダプターや手に付いた水は拭いてください。
- ACアダプターを差し込むと、本体がピッとなり、電源表示が点灯します。

使いかた



電源

- 通電するとピッと鳴り、電源ボタンが点灯します。
- その状態で電源ボタンをタッチすると自動運転が始まり、本体下部にあるフットライトが約5秒間点滅し、CO2センサーがCO2濃度の検知を開始します。検知が完了するとフットライトが色でCO2濃度を示します。(青色:低い、黄色:通常、赤色:高い)
- 運転中、電源ボタンをタッチすると、待機状態に変わります。



風量切替

- 運転中、風量切替ボタンをタッチすると、風量を弱、中、強、おやすみの順に切替えることができます。この時、自動運転は解除されて手動運転に切り替わります。
おやすみの場合、風量が弱でフットライトが消灯します。



自動運転

- 運転中、自動運転ボタンをタッチすると、CO2センサーによる自動運転が開始します。



CO₂関連設定

- 換気状態が悪くなり、CO2濃度が「高め」の基準を超えると、アラームが鳴り、換気を促します。運転中、CO2ボタンをタッチして、アラーム音をオン/オフすることができます。
- 自動風量調整時のCO2濃度基準が3パターン選択できます。CO2ボタンを長押しすると、現在のパターンが点滅表示します。その後、CO2ボタンをタッチし、パターンを切り替えることができます。他のボタンを押すか、30秒間操作がなかったら、選択が完了します。
- 上記設定終了後、いったん電源ボタンを押し、待機状態にすると、設定値が保存されます。

1H **4H** **8H**
P1 **P2** **P3**

現在のCO2濃度基準パターンが点滅表示します。

※点滅しない場合はタイマー表示になります。

CO2濃度	CO2濃度基準パターン(ppm)			フットライト	風量	アラーム音
	P1	P2	P3			
低め	≤ 800	≤ 900	≤ 1000	青色	弱	鳴らない
普通	800~1000	900~1100	1000~1300	黄色	中	鳴らない
高め	≥ 1000	≥ 1100	≥ 1300	赤色	強	鳴る

使いかた (つづき)



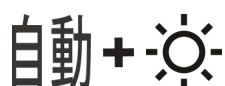
オフタイマー

- 運転中、オフタイマーボタンをタッチすると、設定の時間が経つと運転が停止します。タイマー時間を三段階で調整することができます。



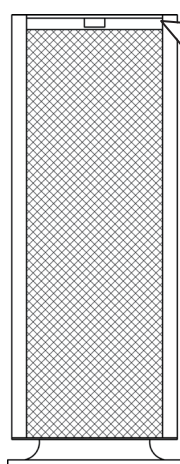
チャイルドロック

- 運転中、チャイルドロックボタンを3秒間長押しすると、操作パネルのボタン操作ができなくなります。再び3秒間長押しすると、ロックが解除されます。



フィルタ掃除アラートのリセット

- 累積運転時間が40～60日間に達すると、フィルタ掃除が点滅し、フィルタの掃除を促します。
- フィルタの掃除が終わった後、自動運転ボタンと照明モードボタンを5秒間同時押しする事でアラートをリセットし、フィルタ掃除を消すことができます。
- フィルタ掃除が点滅しなくても、実際の汚れ状態に応じてフィルタを掃除してください。



背面

静電気にご注意

乾燥した日に、背面ネットの上部のプラスチック部に静電気が溜まる場合があります。危険性はありませんが、ご注意ください。

お手入れ



プレフィルタと静電気フィルタは洗浄前にアルコールや中性洗剤を振りかけて5分間除菌した後、お掃除をしてください。その際にマスクや手袋を着用ください。

お手入れの頻度

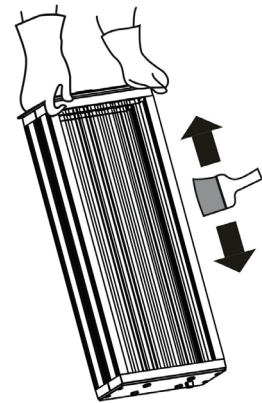
- 油煙や煙が多い場所：毎月
- 油煙や煙が少ない場所：3カ月毎

〈お手入れビデオ〉

<https://greencoretech.com/wash/>

静電気フィルタのお手入れ

- 水洗いは可能です。
- 掃除は、本体から取り出して10秒以上待った後に行ってください。
- 頑固な汚れは中性洗剤を吹きかけた後にフィルタの隙間に沿って柔らかいブラシで掃除してください。
- 油汚れが多い場合は、油汚れ専用クリーナー（弱アルカリ性）をスプレーして、ぬるま湯で洗い流してください。
- 掃除後、水をよく切って完全に乾くまで干してください。
- 本体に元す時は方向に注意してください。



硬いブラシで掃除すると、フィンが傷つくおそれがあります。



熱湯をかけると、フィンが傷つくおそれがあります。



乾燥せずに本体に戻すと、故障の原因となります。

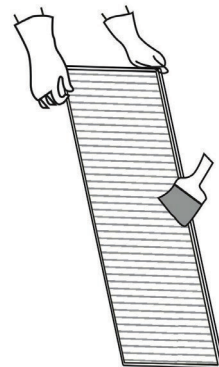


挿入方向を間違えると、正常に動作しません。

お手入れ (つづき)

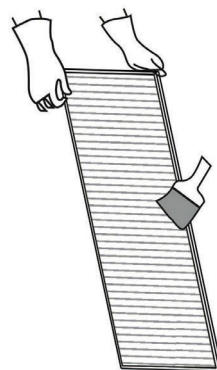
プレフィルタのお手入れ

- ブラシ、ハケまたは掃除機で埃を取り除いてください。
- 水洗いも可能です。
- 油汚れが多い場合は、油汚れ専用クリーナー(弱アルカリ性)をスプレーして、ぬるま湯で洗い流してください。



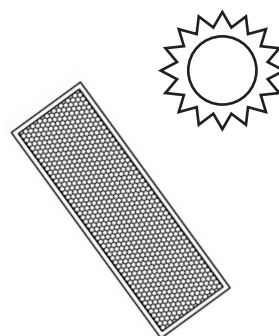
リアフィルタのお手入れ

- ブラシ、ハケまたは掃除機で埃を取り除いてください。
- 水洗いも可能です。
- 油汚れが多い場合は、油汚れ専用クリーナー(弱アルカリ性)をスプレーして、ぬるま湯で洗い流してください。



消臭活性炭フィルタ(オプション)のお手入れ

- 掃除機で埃を取り除いてください。
- 活性炭消臭フィルタを天日干しすると、一部性能が再生できます。
(100%再生できるわけではありません)
- 消臭活性炭フィルタは活性炭が取れる恐れがあるので水洗いできません。
- 使用状況にもよりますが、半年を目安に交換して下さい。



オプション品

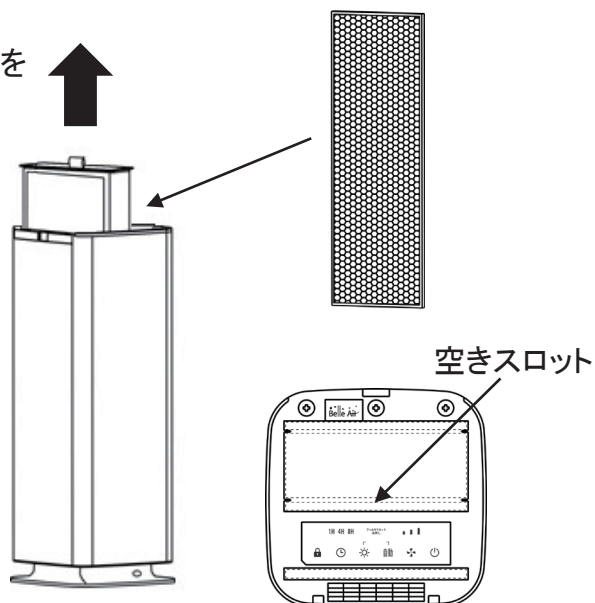
消臭活性炭フィルタ BA-CF300

静電気フィルタは微粒子由来の臭いを除去する事は可能ですが、以下の臭いを除去したい場合はオプションの消臭活性炭フィルタをお使いください。

- 食品由来の臭い
- ペットや尿臭
- オゾンの臭い

② 静電気フィルタから操作パネル側の空きスロットに挿入します。

① 静電気フィルタを取り出します。



ご注意

- 別売オプションです。
- 使用状況にもよりますが、半年を目安に交換して下さい。

CO2センサーの自動校正機能

- CO2センサーはACアダプターをコンセントに差し込んでから、24時間ごとに自動校正を実行し、過去24時間の中のCO2濃度の最小値を400ppm(外気のCO2濃度に相当)として設定します。 * 本体が給電され続けている場合に限りです。
- CO2センサーが正しく校正されるために、毎日1回以上は窓を開けるなどして換気するようにしてください。換気せずに校正が実行されると、CO2濃度の測定値が実際より低く認識されることがあります。

故障かな！？

まず、次の確認をしてください。直らない時は、必ず電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。

こんなときは	ここを確かめてください
風が出ない	ACアダプターのプラグが外れていませんか？ ⇒ コンセント側と本体側のプラグをきちんと差し込んでから、電源を入れてください。
風が弱い	プレフィルタが汚れていませんか？ ⇒ プレフィルタを掃除してください。
長時間運転しても空気の汚れが取れにくい	一部のフィルタを入れ忘れていませんか？ ⇒ 全部のフィルタを入れてください。
	フィルタが汚れていませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	湿度が高くて、製品内で結露していませんか？ ⇒ 浴室やトイレに置かないようにしてください。
	製品の周りに、障害物がありませんか？ ⇒ 周りのスペースを確保してください。
	お部屋の面積が広すぎませんか？ ⇒ 適用最大床面積以内の広さでお使いください。
風においがする	たばこや焼肉などにおいの強い環境で長期間使用していませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	⇒ 動作時に微量のオゾンが発生しますので無臭ではありません。
運転中、ボタン操作が効かない	チャイルドロックがかかっていませんか？ ⇒ チャイルドロックボタンを3秒間押してください。
パチパチと音がする	静電気フィルタに埃が溜まっていませんか？ ⇒ フィルタを掃除してください。
	静電気フィルタが浮いていませんか？ ⇒ フィルタを奥に突き当たるまで押し込んでください。
	加湿器の付近や調理場、風呂場など湯気の出る所で使っていないですか？ ⇒ 高湿度でのご使用を避けてください。

仕 様

型 番	3R-CO2AP
集 塵 方 式	静電気フィルタ式(電気集塵方式)
電 源	100V 50/60Hz ACアダプター
定格消費電力	18W
待機時消費電力	0.5W
適用床面積	~20畳
最大風量	5.1m ³ /分
運 転 音	≦61dBA(風量強)、≦45dBA(風量弱)
空気清浄容量 (CADR)	≧280m ³ /時(0.3μm微粒子)
集 塵 率	99.2%(0.1μm微粒子、約8畳、60分)
	99.7%(PM2.5微粒子、約8畳、60分)
ウイルス捕捉率	99.3%(約8畳、60分)
オゾン濃度	約0.04mg/m ³ (約0.02ppm)
運 転 モード	自動/手動
換気推奨アラーム	CO2濃度が設定値(出荷位置:1000ppm)を超えた場合 オフも可能
OFFタイマー	1 / 4 / 8時間
重 量	約6.1kg
寸 法	幅212mm × 奥行212mm × 高さ553mm

※ 本製品のパッケージ・デザイン・仕様について予告なく変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

保証とアフターサービス

保証書		
品名	Olief オリーブ CO2センサー搭載 空気清浄機	
型式	3R-CO2AP	
お名前		
ご住所		
電話		
E-Mail	@	
保証期間	1年	
お買い上げ日	年 月 日	
お問い合わせ先	電話番号	092-260-3031
	会社名	スリー・アールシステム株式会社

製品保証について

- ご注文に際してのご承認事項 ご注文に際しての見積書、契約書、カタログ、仕様書などの保証内容の記述がない場合には、下記の通りとさせていただきます。
また、本製品は、使用用途・使用環境など限定するものがあります。
ご不明の場合は、弊社またはお買い上げの販売店にご確認ください。

●無償保証、保証範囲及び免責事項

・無償保証

- (1)本製品の保証期間は、製品ご購入の日から1年です。
保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償で修理いたします。
- (2)保証期間後に弊社が修理を行った場合、修理した部分の保証期間は修理完了品納入日から3ヶ月です。

・保証範囲

- (1)上記保証とは本製品単体の保証を意味します。
- (2)本製品を使用したこと、本製品に瑕疵があったこと、または故障したなどによる、若しくは本製品を供給した時期(納期)によるお客様及び第三者が被った二次的な損害(間接損害や逸失利益などを含むがそれらに限らない)については保証対象期間の有無に関わらず、一切の賠償責任を負わないものとします。
また(1)に基づき弊社が責任を負う場合であっても製品の購入金額を上限とします。

・免責事項

保証期間内であっても、次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱の場合(取扱説明書などに記載されている条件、環境、注意事項などの不遵守)
- ②故障の原因が弊社の責に帰さないとき
- ③弊社若しくは弊社が委託した者以外の修理・改造などによる故障・損傷
- ④本製品の本来の使い方以外で使用の場合
- ⑤火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑥誤った施工や使用方法による故障及び損傷
- ⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷